

中二エス

シネスコ版

高新=2-ス No. 295
新装=2-2 No. 223

No. 560

39.10.9

一、五輪の月十月

〃オリンピックノ今、日本は大きな変貌を遂げつつある。

東海道の新しい大動脈、スピード時代をシンボライズする新幹線夢の超特急は去る十月一日開業。午前六時、新装なった東京駅十九番線ホームから「ひかり一号」がスタート。東京―大阪五一五キロを四時間。最高時速二百キロ、世界一の快速列車。この瞬間、日本鉄道の歴史は新しく塗りかえられたのです。

富士の高嶺を見やりながら疾走する「ひかり一号」名古屋をすぎるとき、オリンピック聖火は第二コースを若人から若人へ、町から村へ村から町へと受けつがれて、東京目指してひた走り。また北からの第二、三コースは十月七日の東京都庁前に到着して大会気分はいやが上にも高まってきました。

一方、オリンピック東京大会を間近に控へて、去る三日、千駄ヶ谷の国立競技場では開会式と閉会式の総合リハ―サル。オリンピック組織委員会のかけ声で都内の小・中学生、自衛隊員の家族など約五万人の「模擬観衆」がスタンドを埋め、本番通りのリハ―サル。参加九十八団旗が一糸乱れぬ掲揚。選手入場行進。先頭はオリンピック発祥の榮譽を担ってギリシャ……この選手団は都内の男女高校生六千七百人の動員によるもの。その後祝砲三発がなって聖火最終走者、坂井義則君が赤々と燃えるトーチをかがげ入場、万来の拍手、……聖火台に点火されて、メラメラと燃えて、今、まさに世紀の祭典は始まった感じがしましたのです。

アイモ風土紀

一、富山

北陸一を誇る工業都市富山は、また越中富山の売薬で名高い所。

二代目富山城主正甫によって売薬は誰れでも知られているところである。

富山城もいまではビルの谷間に沈んでしまいました。急速に進む近代化に、富山の象徴はいまや高層ビルがお城にとってかわったようです。

だが町には今も薬屋さんが一四五軒もひしめきあっています。新薬全盛のいまも売薬は根強い力をもっているのはやはり歴史の古さを物語るものでしょう。こうした薬屋さんの世界も世とともに大きく変わります。

昔はほとんど手作りだったのが、いまや近代的な工場オートメーションによってつくられています。

売薬さんもハンテンにハンテングからネクタイに背広というまったくサラリーマンスタイル足と顔がたよりの売薬さん、コマ―シャルベ―スに乗った新薬ブームにどう対抗していくのか、今後工業都市富山で「薬」はどのような地位を占めていくのでしょうか。

324 F

298 F

622 F